

# 活性化型ビタミンD製剤

- 副甲状腺細胞の核内受容体であるビタミンD受容体（VDR）に結合し、PTH遺伝子の転写を抑え、PTH産生を抑制する
- カルシウム、リン濃度を上昇させることから、投与量が制限されることが問題となる
- 重度の症例では副甲状腺細胞のカルシウム感受性受容体、VDRの発現低下により治療効果が十分得られないこともある

	薬品名	投与量
経口	アルファカルシドール（ワンアルファ <sup>®</sup> 、アルファロール <sup>®</sup> ）	0.5～1.5 μg/日
静注	カルシトリオール（ロカルトロール <sup>®</sup> ）	0.5～1.5 μg/回、1～3回/週
	マキサカルシトール（オキサロール <sup>®</sup> ）	2.5～20 μg/回、3回/週